

第3号事業

平成28年度事業計画書

定 款	3 スポーツの振興と地域のスポーツ活動を通じた健全な心身の育成			事業・枝事業番号	3-1
事業名	トップアスリートとの交流事業(総括) * 区計画事業			担 当 課	スポーツ課
				変更内容	事業拡大
目 的	オリンピックやパラリンピアン等のトップアスリートの凄さを体験できる機会を提供し、区民のスポーツ活動に対する関心と参加意欲の高揚及び、2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けた気運醸成を図る。				
区分	予算額(千円)	前年度予算額(千円)	比較増減(千円)	会計	公益目的事業会計
事業収益	50	50	0	部	経常増減の部
区補助金	5,305	1,990	3,315	大科目	事業費
経常収益計	5,355	2,040	3,315	種別	自主・補助
事業費	4,009	970	3,039	事業開始	平成18年度
人件費	2,025	1,990	35	根拠法令	スポーツ基本法
経常費用計	6,034	2,960	3,074		
収 支	△ 679	△ 920	241		
自主財源充当額	679	920	△ 241		
成果指標	目標	前年度目標	比較増減	成果指標の説明	
延べ参加者数	2,750 人	2,500 人	250 人		

事業の計画

1 実施内容(予定) * 本事業は、新宿区第三次実行計画分を含む。

- (1) プロスポーツ公式戦招待やスポーツ教室等を通じ、トップアスリートの技術や迫力にふれる機会を提供する。
 - ①プロスポーツ公式戦等区民無料・優待観戦、選手との交流や見学ツアー等を実施する。
 - ②トップアスリートによるスポーツ教室・体験会等を実施する。
- (2) トップアスリート(オリンピック所属チーム)による練習見学・親子参加型体験会を実施する。
- (3) パラリンピック開催予定種目を紹介するパネル展を実施する。

2 実施上の課題

- (1) 新規連携先の開拓や、既存連携先との協議により、種目数、実施数、定員数の拡大を図り、より多くの区民に参加の機会を提供する。
- (2) 招聘予定アスリート(所属チーム)との日程調整
- (3) 肖像権等、各種権利関係の調整

3 顧客満足度の向上方策

- (1) 区民に多彩なプログラムを提供できるよう、新規連携先を確保する。
- (2) 参加者がスポーツ活動を継続して実施することが可能な場を確保する。

4 実績

平成26年度

- (1) 東京ヴェルディサンクスマッチ(手つなぎキッズ・ピッチ見学等/公式戦無料) 5/3(土・祝) 延べ1,046人
- (2) GTFキッズスポーツサミット(小学4～6年生対象8種目スポーツ教室) 7/22(火) 延べ102人
- (3) 東京ヤクルトスワローズ燃えろ!ナイター(バックヤード見学/公式戦中学生以下無料・大人優待割引) 7/25(金)～27(日) 延べ283人
- (4) 大相撲ランド in 新宿スポレク2014(中学生以下対象相撲体験) 10/13(月・祝) 延べ181人
- (5) 車椅子バスケットボール「メダリストがやって来る」新宿レガスポ2014内で開催 10/13(月・祝) 延べ100人
- (6) ジャイアンツアカデミー in 新宿スポレク 10/13(月・祝) 延べ52人
- (7) NBLバスケット・日立サンロッカーズ東京キッズアクション(小中学生対象練習見学・公式戦無料/区民優待割引) 2/15(日) 延べ29人
- (8) NPOつばめスポーツ振興協会(ヤクルトスワローズ)つばめ野球教室(新小学5～6年生対象) 3/21(土・祝) 延べ148人
- (9) ジャイアンツアカデミー新宿スクール(幼児・小学生通年野球教室) 4～3月 延べ2,740人
※平成28年度から指定管理事業(公園内運動施設)に組み替え

5 対前年度予算増減説明

- (1) 実績精査による諸謝金の減(自主)
- (2) 計画事業分の計上による増(補助・計画)

平成28年度事業計画書

定 款	3 スポーツの振興と地域のスポーツ活動を通じた健全な心身の育成			事業・枝事業番号	3-1
事業名	トップアスリートとの交流事業(自主)			担 当 課	スポーツ課
				変更内容	-
目 的	1.一流の技術や迫力に触れる機会を提供し、感動や忘れられない思い出を与え、将来への夢を抱ききっかけづくりを行う。 2.スポーツの楽しさを体験できる機会を提供し、スポーツ活動への興味や参加へのきっかけづくりを行う。				
区 分	予算額(千円)	前年度予算額(千円)	比較増減(千円)	会計	公益目的事業会計
事業収益	50	50	0	部	経常増減の部
区補助金	1,425	1,990	△ 565	大科目	事業費
経常収益計	1,475	2,040	△ 565	種別	自主事業
事業費	729	970	△ 241	事業開始	平成18年度
人件費	1,425	1,990	△ 565	根拠法令	スポーツ基本法
経常費用計	2,154	2,960	△ 806		
収 支	△ 679	△ 920	241		
自主財源充当額	679	920	△ 241		
成果指標	目標	前年度目標	比較増減	成果指標の説明	
延べ参加者数	2,500 人	2,500 人	0 人		

事業の計画

1 実施内容(予定)
プロスポーツ公式戦招待やスポーツ教室等を通じ、トップアスリートの技術や迫力にふれる機会を提供する。
(1) 試合観戦・交流ツアー等 プロスポーツ公式戦等区民無料・優待観戦、選手との交流や見学ツアー等を実施する。
(2) スポーツ教室・体験会・講演会等 トップアスリートによるスポーツ教室・体験会等を実施する。
2 実施上の課題
(1) 新規連携先の開拓や、既存連携先との協議により、種目数、実施数、定員数の拡大を図り、より多くの区民に参加の機会を提供する。
3 顧客満足度の向上方策
区民に多彩なプログラムを提供できるよう、新規連携先を確保する。
4 実績
平成26年度
(1) 東京ヴェルディサンクスマッチ(手つなぎキッズ・ピッチ見学等/公式戦無料) 5/3(土・祝) 延べ1,046人
(2) GTFキッズスポーツサミット(小学4～6年生対象8種目スポーツ教室) 7/22(火) 延べ102人
(3) 東京ヤクルトスワローズ燃えろ!ナイター(バックヤード見学/公式戦中学生以下無料・大人優待割引) 7/25(金)～27(日) 延べ283人
(4) 大相撲ランド in 新宿スポレク2014(中学生以下対象相撲体験) 10/13(月・祝) 延べ181人
(5) 車椅子バスケットボール「メダリストがやって来る」新宿レガスポ2014内で開催 10/13(月・祝) 延べ100人
(6) ジャイアンツアカデミー in 新宿スポレク 10/13(月・祝) 延べ52人
(7) NBLバスケット・日立サンロッカーズ東京キッズアクション(小中学生対象練習見学・公式戦無料/区民優待割引) 2/15(日) 延べ29人
(8) NPOつばめスポーツ振興協会(ヤクルトスワローズ)つばめ野球教室(新小学5～6年生対象) 3/21(土・祝) 延べ148人
(9) ジャイアンツアカデミー新宿スクール(幼児・小学生通年野球教室) 4～3月 延べ2,740人 ※平成28年度から指定管理事業(公園内運動施設)に組み替え
5 対前年度予算増減説明
実績精査による諸謝金の減

平成28年度事業計画書

定 款	3 スポーツの振興と地域のスポーツ活動を通じた健全な心身の育成			事業・枝事業番号	3-1
事業名	トップアスリートとの交流事業(補助) オリンピック・パラリンピック気運醸成事業 * 区計画事業			担 当 課	スポーツ課
				変更内容	新規
目 的	オリンピック等トップアスリートの練習見学・体験会やパラリンピック競技種目紹介のパネル展を開催することで、2020年東京オリンピック・パラリンピック大会開催気運の醸成と、区民のスポーツ活動参加のきっかけづくりを図る。				
区分	予算額(千円)	前年度予算額(千円)	比較増減(千円)	会計	公益目的事業会計
事業収益	0	0	0	部	経常増減の部
区補助金	3,880	0	3,880	大科目	事業費
経常収益計	3,880	0	3,880	種別	補助事業
事業費	3,280	0	3,280	事業開始	平成28年度
人件費	600	0	600	根拠法令	スポーツ基本法
経常費用計	3,880	0	3,880		
収 支	0	0	0		
-	-	-	-		
成果指標	目標	前年度目標	比較増減	成果指標の説明	
延べ参加者数	250 人	-	-		

事業の計画

1 実施内容(予定)

- (1) トップアスリート(オリンピック所属チーム)の練習見学・体験会 年1回(実施時期未定)
 - 会場：新宿コズミックセンター 2階 大体育室
 - ① 練習見学会 定員200人
 - ② 体験会 定員50人(小・中学生とその保護者25組)
- (2) パラリンピック開催予定種目紹介パネル展(実施時期未定)
 - 会場：新宿コズミックセンター内(2階ロビー及び館内壁面等)

2 実施上の課題

- (1) 招聘予定アスリート(所属チーム)との日程調整
- (2) 肖像権等、各種権利関係の調整

3 顧客満足度の向上方策

参加者がスポーツ活動を継続して実施することが可能な場を確保する。

4 実績

平成28年度新規事業

5 対前年度予算増減説明

平成28年度新規事業

平成28年度事業計画書

定 款	3 スポーツの振興と地域のスポーツ活動を通じた健全な心身の育成			事業・枝事業番号	3-2
事業名	<特定費用準備資金充当事業> 新宿シティハーフマラソン・ 区民健康マラソン(総括)			担当課	マラソン課
				変更内容	-
目 的	「健康推進都市新宿」を区内外へ積極的に発信するとともに、子どもから高齢者、障がい者等「誰でも」気軽に集い、楽しめる場を提供するため、区民をはじめ、多くの人に親しまれる市民マラソンを実施する。				
区分	予算額(千円)	前年度予算額(千円)	比較増減(千円)	会計	公益目的事業会計
事業収益	0	0	0	部	経常増減の部
区補助金	43,716	34,181	9,535	大科目	事業費
特定費用充当額	6,000	6,000	0	種別	自主・補助
経常収益計	49,716	40,181	9,535	事業開始	昭和61年度
事業費	24,309	15,224	9,085	根拠法令	スポーツ基本法
人件費	25,407	24,957	450		
経常費用計	49,716	40,181	9,535		
収 支	0	0	0		
-	-	-	-		
成果指標	目標	前年度目標	比較増減	成果指標の説明	
参加者数	10,000 人	10,000 人	0 人		

事業の計画

1 実施内容(予定)

- (1)実施日 平成29年1月29日(日)
- (2)会 場 明治神宮野球場をメイン会場として、神宮外苑及び國學院高等学校をサブ会場として確保のうえ実施。
- (3)実施内容
 - ①ハーフマラソンの部(男女別:陸連登録、40歳未満、40歳以上、50歳以上、60歳以上)
 - ②10kmの部(男女別:陸連登録、40歳未満、40歳以上、50歳以上、60歳以上)
 - ③区民健康マラソンの部(3km・2km、スペシャルラン、ひよこ)
 - ④同時開催として、第2回日本ID(知的障がい)ハーフマラソン選手権大会
- (4)コース拡張 区内全域に渡るコースの実施を将来的に見据え、引き続きコース設定等の調査を行う。

2 実施上の課題

- (1)安全・安心な大会運営を実施するための警察、消防、警備会社、職員、ボランティア等との仕組づくり。
- (2)安定的な大会運営を行うための協賛金の獲得。
- (3)より多くのボランティアが参加する積極的なPR。

3 顧客満足度の向上方策

- (1)公益財団法人東京陸上競技協会の参画により円滑な競技運営を行い参加者満足度を向上する。
- (2)第2回日本IDハーフマラソン選手権大会を実施することで、障がい者のスポーツ機会の提供を行い、併せて東京オリンピック・パラリンピック気運醸成を図る。

4 実績

- 平成26年度(第13回大会)
- ①開催日:平成27年1月25日(日)
 - ②会場等:明治神宮野球場、明治神宮神宮第二球場、國學院高等学校他
 - ③実施種目及び申込数:ハーフマラソン5,413人・10km2,776人・健康マラソン2,960人
 - ④その他:区民参加率34.1%・全国41都道府県から参加

5 対前年度予算増減説明

安全・安心な大会運営をするための経費の増

6 特定費用準備資金の状況

- (1)資金の名称:新宿シティハーフマラソン積立資産
- (2)活動の実施予定時期:平成26年度から平成30年度
- (3)積立金額:30,000,000円
- (4)本事業への充当額:18,000,000円
(平成26年度、27年度各6,000,000円 平成28年度予算6,000,000円)
- (5)資金残金:12,000,000円

平成28年度事業計画書

定 款	3 スポーツの振興と地域のスポーツ活動を通じた健全な心身の育成			事業・枝事業番号	3-2
事業名	<特定費用準備資金充当事業> 新宿シティハーフマラソン・ 区民健康マラソン(自主)			担 当 課	マラソン課
				変更内容	-
目 的	「健康推進都市新宿」を区内外へ積極的に発信するとともに、子どもから高齢者、障がい者等「誰でも」気軽に集い、楽しめる場を提供するため、区民をはじめ、多くの人に親しまれる市民マラソンを実施する。				
区分	予算額(千円)	前年度予算額(千円)	比較増減(千円)	会計	公益目的事業会計
事業収益	0	0	0	部	経常増減の部
特定費用充当額	6,000	6,000	0	大科目	事業費
経常収益計	6,000	6,000	0	種別	自主事業
事業費	6,000	6,000	0	事業開始	昭和61年度
人件費	0	0	0	根拠法令	スポーツ基本法
経常費用計	6,000	6,000	0		
収 支	0	0	0		
-	-	-	-		
成果指標	目標	前年度目標	比較増減	成果指標の説明	
参加者数	10,000 人	10,000 人	0 人		

事業の計画

1 実施内容(予定)

- (1)実施日 平成29年1月29日(日)
- (2)会 場 明治神宮野球場をメイン会場として、神宮外苑及び國學院高等学校をサブ会場として確保のうえ実施。
- (3)実施内容 ①ハーフマラソンの部(男女別:陸連登録、40歳未満、40歳以上、50歳以上、60歳以上)
 ②10kmの部(男女別:陸連登録、40歳未満、40歳以上、50歳以上、60歳以上)
 ③区民健康マラソンの部(3km・2km、スペシャルラン、ひよこ)
 ④同時開催として、第2回日本ID(知的障がい)ハーフマラソン選手権大会
- (4)コース拡張 区内全域に渡るコースの実施を将来的に見据え、引き続きコース設定等の調査を行う。

2 実施上の課題

- (1)安全・安心な大会運営を実施するための警察、消防、警備会社、職員、ボランティア等との仕組づくり。
- (2)安定的な大会運営を行うための協賛金の獲得。
- (3)より多くのボランティアが参加する積極的なPR。

3 顧客満足度の向上方策

- (1)公益財団法人東京陸上競技協会の参画により円滑な競技運営を行い参加者満足度を向上する。
- (2)第2回日本IDハーフマラソン選手権大会を実施することで、障がい者のスポーツ機会の提供を行い、併せて東京パラリンピック気運醸成を図る。

4 実績

平成26年度(第13回大会)

- ①開催日:平成27年1月25日(日)
- ②会場等:明治神宮野球場、明治神宮神宮第二球場、國學院高等学校他
- ③実施種目及び申込数:ハーフマラソン5,413人・10km2,776人・健康マラソン2,960人
- ④その他:区民参加率34.1%・全国41都道府県から参加

5 対前年度予算増減説明

6 特定費用準備資金の状況

- (1)資金の名称:新宿シティハーフマラソン積立資産
- (2)活動の実施予定時期:平成26年度から平成30年度
- (3)積立金額:30,000,000円
- (4)本事業への充当額:18,000,000円
(平成26年度、27年度各6,000,000円 平成28年度予算6,000,000円)
- (5)資金残金:12,000,000円

平成28年度事業計画書

定 款	3 スポーツの振興と地域のスポーツ活動を通じた健全な心身の育成			事業・枝事業番号	3-2
事業名	<特定費用準備資金充当事業> 新宿シティハーフマラソン・ 区民健康マラソン(補助)			担 当 課	マラソン課
				変更内容	-
目 的	「健康推進都市新宿」を区内外へ積極的に発信するとともに、子どもから高齢者、障がい者等「誰でも」気軽に集い、楽しめる場を提供するため、区民をはじめ、多くの人に親しまれる市民マラソンを実施する。				
区分	予算額(千円)	前年度予算額(千円)	比較増減(千円)	会計	公益目的事業会計
事業収益	0	0	0	部	経常増減の部
区補助金	43,716	34,181	9,535	大科目	事業費
経常収益計	43,716	34,181	9,535	種別	補助事業
事業費	18,309	9,224	9,085	事業開始	昭和61年度
人件費	25,407	24,957	450	根拠法令	スポーツ基本法
経常費用計	43,716	34,181	9,535		
収 支	0	0	0		
-	-	-	-		
成果指標	目標	前年度目標	比較増減	成果指標の説明	
参加者数	10,000 人	10,000 人	0 人		

事業の計画

1 実施内容(予定)

- (1)実施日 平成29年1月29日(日)
- (2)会 場 明治神宮野球場をメイン会場として、神宮外苑及び國學院高等学校をサブ会場として確保のうえ実施。
- (3)実施内容 ①ハーフマラソンの部(男女別:陸連登録、40歳未満、40歳以上、50歳以上、60歳以上)
②10kmの部(男女別:陸連登録、40歳未満、40歳以上、50歳以上、60歳以上)
③区民健康マラソンの部(3km・2km、スペシャルラン、ひよこ)
④同時開催として、第2回日本ID(知的障がい)ハーフマラソン選手権大会
- (4)コース拡張 区内全域に渡るコースの実施を将来的に見据え、引き続きコース設定等の調査を行う。

2 実施上の課題

- (1)安全・安心な大会運営を実施するための警察、消防、警備会社、職員、ボランティア等との仕組づくり。
- (2)安定的な大会運営を行うための協賛金の獲得。
- (3)より多くのボランティアが参加する積極的なPR。

3 顧客満足度の向上方策

- (1)公益財団法人東京陸上競技協会の参画により円滑な競技運営を行い参加者満足度を向上する。
- (2)第2回日本IDハーフマラソン選手権大会を実施することで、障がい者のスポーツ機会の提供を行い、併せて東京パラリンピック気運醸成を図る。

4 実績

平成26年度(第13回大会)

- ①開催日:平成27年1月25日(日)
- ②会場等:明治神宮野球場、明治神宮神宮第二球場、國學院高等学校他
- ③実施種目及び申込数:ハーフマラソン5,413人・10km2,776人・健康マラソン2,960人
- ④その他:区民参加率34.1%・全国41都道府県から参加

5 対前年度予算増減説明

安全・安心な大会運営をするための経費の増

6 特定費用準備資金の状況

- (1)資金の名称:新宿シティハーフマラソン積立資産
- (2)活動の実施予定時期:平成26年度から平成30年度
- (3)積立金額:30,000,000円
- (4)本事業への充当額:18,000,000円
(平成26年度、27年度各6,000,000円 平成28年度予算6,000,000円)
- (5)資金残金:12,000,000円

平成28年度事業計画書

定 款	3 スポーツの振興と地域のスポーツ活動を通じた健全な心身の育成			事業・枝事業番号	3-3
事業名	新宿スポレク * 区計画事業			担 当 課	スポーツ課
				変更内容	-
目 的	体育の日に、区民が気軽に参加できるスポーツイベントを実行委員会形式で実施し、多様なスポーツレクリエーション活動に親しむ機会を提供する。				
区分	予算額(千円)	前年度予算額(千円)	比較増減(千円)	会計	公益目的事業会計
事業収益	55	95	△ 40	部	経常増減の部
区補助金	3,407	3,417	△ 10	大科目	事業費
経常収益計	3,462	3,512	△ 50	種別	補助事業
事業費	2,250	2,321	△ 71	事業開始	昭和59年度
人件費	1,212	1,191	21	根拠 法令	スポーツ基本法、社会教育法
経常費用計	3,462	3,512	△ 50		
収 支	0	0	0		
-	-	-	-		
成果指標	目標	前年度目標	比較増減	成果指標の説明	
延べ来場者数	20,000 人	20,000 人	0 人		

事業の計画

- 1 実施内容(予定) * 本事業は、新宿区第三次実行計画分を含む。**
- (1) 日時 体育の日(毎年10月第二月曜 平成28年10月10日(月・祝)9時30分から15時30分)
 - (2) 会場 新宿コズミックセンター、新宿スポーツセンター、ほか
 - (3) 連携先 一般社団法人新宿区体育協会、新宿区レクリエーション協会、新宿区スポーツ推進委員協議会、新宿区青少年団体連合会ほか、区内団体、都内民間企業
 - (4) 延べ来場者数 20,000人
 - (5) スケジュール
 - ①5月下旬:第1回実行委員会(事業説明、企画募集説明、意見交換)
 - ②8月上旬:第2回実行委員会(出展・出店団体決定、意見交換、調整)
 - ③10月上旬:第1回全体連絡会(当日のイベント運営について最終説明・調整)
 - (6) その他
2020年東京オリンピック・パラリンピック気運醸成につながる企画を実施する。
- 2 実施上の課題**
- (1) スポーツとレクリエーションの催しとして、レガスマつりとの差別化を図る。
 - (2) 内容充実に向けた、新規出展団体獲得の手法(会場確保を含む)を検討する。
- 3 顧客満足度の向上方策**
- 2020年東京オリンピック・パラリンピックの開催決定に伴い、関係団体との連携を強化することで、トップアスリートの招へい等により、次代を担う子ども達の興味・関心を喚起させるイベントを継続的に実施する基盤を作る。
- 4 実績**
- | | | |
|--------|--------------|----------------|
| 平成26年度 | 延べ参加団体数:86団体 | 延べ来場者数:16,205人 |
| 平成25年度 | 延べ参加団体数:76団体 | 延べ来場者数:16,876人 |
| 平成24年度 | 延べ参加団体数:86団体 | 延べ来場者数:15,615人 |
| 平成23年度 | 延べ参加団体数:83団体 | 延べ来場者数:12,661人 |
- 5 対前年度予算増減説明**
- 実績精査による消耗品費、使用料及び賃借料の減

平成28年度事業計画書

定 款	3 スポーツの振興と地域のスポーツ活動を通じた健全な心身の育成			事業・枝事業番号	3-4
事業名	レガス健康づくり事業			担 当 課	スポーツ課
				変更内容	-
目 的	新宿コズミックスポーツセンターを中心とした区内公共施設で、区民が定期的・継続的に健康・体力づくりを行うことができる多彩なプログラムを提供し、心身ともに健やかに暮らすことができる、質の高い生活環境の整備に寄与する。				
区分	予算額(千円)	前年度予算額(千円)	比較増減(千円)	会計	公益目的事業会計
事業収益	18,811	19,772	△ 961	部	経常増減の部
区補助金	2,838	2,773	65	大科目	事業費
経常収益計	21,649	22,545	△ 896	種別	自主事業
事業費	15,592	15,975	△ 383	事業開始	平成12年度
人件費	2,838	2,773	65	根拠法令	スポーツ基本法
経常費用計	18,430	18,748	△ 318		
収 支	3,219	3,797	△ 578		
自主財源充当額	0	0	0		
成果指標	目標	前年度目標	比較増減	成果指標の説明	
延べ参加者数	50,000 人	50,000 人	0 人		

事業の計画

1 実施内容(予定)

レガスポ！(スポーツプログラムの提供)

(1) レガスポ！ 通年講座(週40講座)【会場】新宿コズミックスポーツセンター

ヨガ、ピラティスなど、高校生以上の様々な年齢層が参加できるプログラムを提供する。

また、40講座中18講座において、生後6か月から未就学児までを対象とした託児サービスを提供する。

(2) レガスポ！10 短期講座(年17講座)・最少催行15人 【会場】新宿コズミックスポーツセンター

アンケート等でリクエストが多いプログラムや、新ジャンルのプログラムを提案し提供する。

(3) 出張レガスポ！ 短期講座(年14講座)・最少催行15人 【会場】生涯学習館/大久保スポーツプラザ

新宿コズミックスポーツセンター以外でも講座を実施することで、利便性を高め利用者の要望に応える。

(4) 出前レガスポ！

区及び区内団体等の依頼により、講師手配や用品貸出を行い、区内のスポーツ振興に寄与する。

2 実施上の課題

通年講座のうち、平均延べ参加人数が最少催行に満たない種目を短期講座に切替える。

3 顧客満足度の向上方策

区内各地域での講座開催を促進し、利便性を高め、より多くの利用者へスポーツ活動の機会を提供する。

4 実績

	平成26年度	平成25年度	平成24年度
(1) 通年レガスポ！	43,750 (40講座)	44,587 (39講座)	43,314 (38講座)
託児サービス	1,632 (17講座)	1,702 (21講座)	1,827 (18講座)
(2) レガスポ！10	2,842 (16講座)	3,120 (15講座)	5,482 (17講座)
(3) 出張レガスポ！	2,230 (15講座)	2,051 (19講座)	3,235 (18講座)
(4) 出前レガスポ！	114 (4講座)	50 (2講座)	-
計	50,568	51,510	53,858

5 対前年度予算増減説明

(1) 実績による事業収益の減

(2) 通年講座から短期講座への切替えに伴う諸謝金の減

平成28年度事業計画書

定 款	3 スポーツの振興と地域のスポーツ活動を通じた健全な心身の育成			事業・枝事業番号	3-5
事業名	新宿区体育協会及び新宿区レクリエーション協会加盟団体への支援			担 当 課	スポーツ課
				変更内容	事業拡大
目 的	「一般社団法人新宿区体育協会」と「NPO法人新宿区レクリエーション協会」加盟団体の活動を支援することにより、区民のスポーツ活動の振興を図る。				
区分	予算額(千円)	前年度予算額(千円)	比較増減(千円)	会計	公益目的事業会計
事業収益	0	0	0	部	経常増減の部
区補助金	6,898	6,709	189	大科目	事業費
経常収益計	6,898	6,709	189	種別	補助事業
事業費	2,028	1,946	82	事業開始	昭和46年度
人件費	4,870	4,763	107	根拠 法令	社会教育法、 スポーツ基本法
経常費用計	6,898	6,709	189		
収 支	0	0	0		
-	-	-	-		
成果指標	目標	前年度目標	比較増減	成果指標の説明	
派遣種目数	45 種目	-	-		

事業の計画

1 実施内容(予定)

- (1)「一般社団法人新宿区体育協会」の事務局運営を支援する。
- (2)「一般社団法人新宿区体育協会」加盟団体及び「NPO法人新宿区レクリエーション協会」の財団管理施設利用における、優先利用・利用料減免を行う。
- (3)両団体の加盟団体主催事業に対する広報協力等を行う。
- (4)「平成28年度 都民体育大会」結団式を開催する。
- (5)「平成28年度 都民体育大会(第69回春季大会、第70回夏季大会・冬季大会)」へ選手を派遣する。
- (6)「第69回都民体育大会春季大会」開会式・閉会式へ参加する。
- (7)「平成28年度 都民生涯スポーツ大会」へ選手を派遣する。
- (8)「第28回都民スポレクふれあい大会」へ選手を派遣する。
- (9)新宿区体育協会加盟団体の技術向上のため指導者を派遣する。【新規】

2 実施上の課題

2020年東京オリンピック・パラリンピック開催に向け、気運醸成事業等の拡充が予測されるため、支援方法や役割を再検討する。

3 顧客満足度の向上方策

受賞者や成績優秀者を財団広報紙及びホームページ等で紹介する。

4 実績

- (1)両団体の加盟団体主催事業に対する広報協力等 15団体 21事業(平成26年度実績)
- (2)「代表選手の派遣」の実績 47種目 665人(平成26年度実績) (単位:人)

年度	都民大会春	都民大会夏	都民大会冬	都フナ釣り	都ハゼ釣り	都民生涯スポ	都民スポレク	合計	結団式	都民開会式
平成26年度	283	38	38	6	6	154	140	665	49	95
平成25年度	339	35	31	5	6	141	142	699	68	87
平成24年度	342	35	37	7	5	129	150	705	72	38

5 対前年度予算増減説明

- (1)東京都体育大会結団式で提供する飲食物単価の見直しによる会議費の増
- (2)釣魚会連盟の退会による支払負担金の減
- (3)指導者派遣費用の計上による支払助成金の増

平成28年度事業計画書

定 款	3 スポーツの振興と地域のスポーツ活動を通じた健全な心身の育成			事業・枝事業番号	3-6
事業名	区民スポーツ大会(総括)			担当課	スポーツ課
				変更内容	-
目 的	区民が日頃のスポーツ活動の成果を発表できる機会をつくることにより、スポーツ活動が継続的に 行われるよう支援し、区民の健康や体力の増進を図る。併せて、大会を通して区民の親睦と交流 を図る。				
区分	予算額(千円)	前年度予算額(千円)	比較増減(千円)	会計	公益目的事業会計
事業収益	1,567	1,567	0	部	経常増減の部
区補助金	11,647	11,905	△ 258	大科目	事業費
経常収益計	13,214	13,472	△ 258	種別	自主・補助
事業費	11,675	11,876	△ 201	事業開始	昭和41年度
人件費	2,838	2,773	65	根拠 法令	スポーツ基本法
経常費用計	14,513	14,649	△ 136		
収 支	△ 1,299	△ 1,177	△ 122		
自主財源充当額	1,299	1,177	122		
成果指標	目標	前年度目標	比較増減	成果指標の説明	
延べ参加者数	18,000 人	18,000 人	0 人		

事業の計画

1 実施内容(予定)

(1) 大会期間

- ① 総合開会式 平成28年9月4日(日)
- ② 大会期間 平成28年4月～29年3月

(2) 実施競技

一般の部31競技、中学の部12競技(前年度より1競技増)
小学生の部5競技(前年度より1競技増) 計48競技を実施予定

(3) 参加料

- ①個人競技 200円
- ②ペア競技 400円
- ③団体競技 15人以上登録競技2,000円、5人前後登録競技1,200円

2 実施上の課題

継続的かつ発展的な大会運営を実現するため、運営体制を強化するとともに、各種目の競技主管
団体との役割分担の適正化を図る。

3 顧客満足度の向上方策

各競技の現状に即して「一般の部」の中に「シニアの部」を設ける等、柔軟な対応を検討する。

4 実績

平成26年度 新宿区民総合体育大会

参加者数:17,008人

一般の部 31種目 中学生の部 12種目 小学生の部 5種目

平成26年度 小中学生スポーツ大会 参加者数1,329名

(小学生野球大会411名 中学生野球大会164名 小学生サッカー大会754名)

5 対前年度予算増減説明

実績精査による消耗品費、使用料及び賃借料の減(補助)
パートタイム職員人件費の見直しによる増(自主)

平成28年度事業計画書

定 款	3 スポーツの振興と地域のスポーツ活動を通じた健全な心身の育成		事業・枝事業番号	3-6	
事業名	区民スポーツ大会(自主)			担 当 課	スポーツ課
				変更内容	-
目 的	区民が日頃のスポーツ活動の成果を発表できる機会をつくることにより、スポーツ活動が継続的に行われるよう支援し、区民の健康や体力の増進を図る。併せて、大会を通して区民の親睦と交流を図る。				
区 分	予算額(千円)	前年度予算額(千円)	比較増減(千円)	会計	公益目的事業会計
事業収益	0	0	0	部	経常増減の部
区補助金	0	0	0	大科目	事業費
経常収益計	0	0	0	種別	自主事業
事業費	1,299	1,177	122	事業開始	昭和41年度
人件費	0	0	0	根拠法令	スポーツ基本法
経常費用計	1,299	1,177	122		
収 支	△ 1,299	△ 1,177	△ 122		
自主財源充当額	1,299	1,177	122		
成果指標	目標	前年度目標	比較増減	成果指標の説明	
延べ参加者数	18,000 人	18,000 人	0 人		
-					
-					

事業の計画

<p>1 実施内容(予定)</p> <p>(1) 大会期間</p> <p>① 総合開会式 平成28年9月4日(日)</p> <p>② 大会期間 平成28年4月～29年3月</p> <p>(2) 実施競技</p> <p>一般の部31競技、中学の部12競技(前年度より1競技増)</p> <p>小学生の部5競技(前年度より1競技増) 計48競技を実施予定</p> <p>2 実施上の課題</p> <p>継続的かつ発展的な大会運営を実現するため、運営体制を強化するとともに、各種目の競技主管団体との役割分担の適正化を図る。</p> <p>3 顧客満足度の向上方策</p> <p>各競技の現状に即して「一般の部」の中に「シニアの部」を設ける等、柔軟な対応を検討する。</p> <p>4 実績</p> <p>平成26年度 新宿区民総合体育大会 参加者数:17,008人 一般の部 31種目 中学生の部 12種目 小学生の部 5種目</p> <p>平成26年度 小中学生スポーツ大会 参加者数1,329名 (小学生野球大会411名 中学生野球大会164名 小学生サッカー大会754名)</p> <p>5 対前年度予算増減説明</p> <p>最低賃金改定による臨時雇用賃金の増</p>

平成28年度事業計画書

定 款	3 スポーツの振興と地域のスポーツ活動を通じた健全な心身の育成			事業・枝事業番号	3-6
事業名	区民スポーツ大会(補助)			担 当 課	スポーツ課
				変更内容	-
目 的	区民が日頃のスポーツ活動の成果を発表できる機会をつくることにより、スポーツ活動が継続的に 行われるよう支援し、区民の健康や体力の増進を図る。併せて、大会を通して区民の親睦と交流 を図る。				
区分	予算額(千円)	前年度予算額(千円)	比較増減(千円)	会計	公益目的事業会計
事業収益	1,567	1,567	0	部	経常増減の部
区補助金	11,647	11,905	△ 258	大科目	事業費
経常収益計	13,214	13,472	△ 258	種別	補助事業
事業費	10,376	10,699	△ 323	事業開始	昭和41年度
人件費	2,838	2,773	65	根拠 法令	スポーツ基本法
経常費用計	13,214	13,472	△ 258		
収 支	0	0	0		
-	-	-	-		
成果指標	目標	前年度目標	比較増減	成果指標の説明	
延べ参加者数	18,000 人	18,000 人	0 人		

事業の計画

1 実施内容(予定)

- (1) 大会期間
- ① 総合開会式 平成28年9月4日(日)
 - ② 大会期間 平成28年4月～29年3月
- (2) 実施競技
- 一般の部31競技、中学の部12競技(前年度より1競技増)
小学生の部5競技(前年度より1競技増) 計48競技を実施予定
- (3) 参加料
- ①個人競技 200円
 - ②ペア競技 400円
 - ③団体競技 15人以上登録競技2,000円、5人前後登録競技1,200円

2 実施上の課題

継続的かつ発展的な大会運営を実現するため、運営体制を強化するとともに、各種目の競技主管
団体との役割分担の適正化を図る。

3 顧客満足度の向上方策

各競技の現状に即して「一般の部」の中に「シニアの部」を設ける等、柔軟な対応を検討する。

4 実績

平成26年度 新宿区民総合体育大会
参加者数:17,008人
一般の部 31種目 中学生の部 12種目 小学生の部 5種目
平成26年度 小中学生スポーツ大会 参加者数1,329名
(小学生野球大会411名 中学生野球大会164名 小学生サッカー大会754名)

5 対前年度予算増減説明

実績精査による消耗品費、使用料及び賃借料の減

平成28年度事業計画書

定 款	3 スポーツの振興と地域のスポーツ活動を通じた健全な心身の育成			事業・枝事業番号	3-7
事業名	団体等と連携したスポーツ普及事業			担当課	スポーツ課 子ども支援課
				変更内容	-
目 的	1.スポーツ団体をはじめとする地域団体等との連携により多様な種目の講座を実施し、各種目の普及と振興を目指し、かつ団体の活動活性化を図る。 2.区民に対し、気軽にスポーツに取り組む機会を提供し、スポーツ習慣の定着を図るとともに、健康で豊かな生活の促進に寄与する。 3.スポーツを通じた区民相互の交流を図り、仲間づくりや地域コミュニティの形成に寄与する。				
区分	予算額(千円)	前年度予算額(千円)	比較増減(千円)	会計	公益目的事業会計
事業収益	366	436	△ 70	部	経常増減の部
区補助金	2,838	2,773	65	大科目	事業費
経常収益計	3,204	3,209	△ 5	種別	自主事業
事業費	1,254	1,475	△ 221	事業開始	平成22年度
人件費	2,838	2,773	65	根拠 法令	スポーツ基本法
経常費用計	4,092	4,248	△ 156		
収 支	△ 888	△ 1,039	151		
自主財源充当額	888	1,039	△ 151		
成果指標	目標	前年度目標	比較増減	成果指標の説明	
延べ参加者数	80,000 人	90,000 人	△ 10,000 人		

事業の計画

1 実施内容(予定)
(1) 陸上教室(小学生等対象) 10回×30人×2季(夏季7～9月、冬季10～2月)
(2) 健康ウォーキング 毎月1回+特別プログラム2回 合計14回
(3) 夏休みラジオ体操 7月～8月 区内70会場以上で開催
(4) ソフトバレーボール大会
(5) 小学生将棋大会
(6) 小学生百人一首かるた大会
(7) 小学生囲碁大会
2 実施上の課題
さらに多くの参加者ニーズに応えるため、新規連携先の開拓を行う。
3 顧客満足度の向上方策
(1) 多彩なプログラムの提供により、多様化する区民のニーズに応える。
(2) 参加者アンケート実施により、内容・運営方法等の改善を行う。
4 実績
平成26年度
(1) 陸上教室(小学生等対象)(連携先:新宿レガス陸上クラブ)
①夏教室 7月15日(火)～9月30日(火) 全11回 延べ参加者数 298人
②冬教室 10月28日(火)～1月27日(火) 全11回 延べ参加者数 341人
(2) 健康ウォーキング (連携先:NPO法人新宿区ウォーキング協会)
8月を除く毎月 計14回 延べ参加者数 598人
(3) 夏休みラジオ体操 (連携先:新宿区ラジオ体操会連盟他)
7月～8月 区内小中学校校庭・公園他 開催団体 74団体 延べ参加者数 83,190人
(4) 新宿区ソフトバレーボール大会 11月29日(土) 14チーム、延べ参加者数 75人
(5) 新宿区小学生将棋大会(連携先:公益財団法人日本将棋連盟) 8月10日(日) 延べ参加者数 39人
(6) 新宿区小学生百人一首かるた大会(連携先:東京東会) 2月1日(日) 延べ参加者数 37人
(7) 新宿区小学生囲碁大会(連携先:公益財団法人日本棋院) 3月1日(日) 参加者数 29人
※1～2月に囲碁教室を開催(延べ参加者数 136人)
5 対前年度予算増減説明
実績精査による印刷製本費、委託費の減